



Change! 2022 ニュース

No. 28

Change! 2022 推進委員会 2021. 10. 15 発行

▼ 会員増強に思う

「私の地域から世界に広げよう
 青少年を支えるワイズの輪 和 ワッ！」

関東東部部長

大澤 和子 (所沢)



高齢化社会になりました。一人の若者が4人の高齢者を支えなければなりません。でも、こう考えたらどうでしょう。4人のワイズメンが一人の青少年を支えると。若いパパママ、大学生、高校生、中学生、小学生、幼稚園児や保育園児、障害がある人...、そういう人たちを私たち元気で人生経験豊かなワイズメンが支えたい。

三本の矢ならず四本の矢(四人のワイズメン)なら、強力です。クラブを超えて、部を超えて、区を超えて、国を超えてワイズの輪を広げたい。自分を愛し、隣人を愛し、地域を愛し、世界を愛するワイズメンでありたい。そうするとワッと驚く意義のある楽しいことができるのではないのでしょうか？



「この指とまれ！」と誰かが指を立てたら、それにとまってみることって大事ですよ。

例えば『QRコード～動画でわかるワイズメンズクラブ』のカード【写真右上】、活用していらっしゃいますか？

それから、Facebookは？ せっかく予算を立てた取り組みなので、すから、活用してみる価値はありますよ。



所沢クラブの Facebook にワイズメンズクラブの紹介QRコードを掲載したら、いつもは20人くらいしかアクセスが200人以上に増えたのです。

各クラブで計画している楽しい企画、意義ある卓話、何でもいいので、まず乗ってみることでですね。できれば友人知人と一緒に。そうすればワイズの輪が広がります。

そして一緒に楽しむことでですね。♪躍るアホウに見るアホウ。同じアホなら踊らにゃソソソ♪ と言いますから。

コロナ禍だから何もできないのではなくて、コロナ禍でも工夫をして活動をしているクラブ、部、区の取り組みに参加してみるだけでも、ワッと驚く楽しくて意義のある取り組みのヒントが得られるかもしれません。人は、そういうところに集まるものだと思うのです。

《 大澤 和子さんのプロフィール 》

1950年、神奈川県逗子市生まれ。

東京築地、そして板橋育ち。高校時代は、教師に反発をして、自称不良時代を送る。

優等生も劣等生も経験した体験から、教育によって子どもは変わると痛感して、小学校教師となる。

退職の年の4か月、崩壊クラス担任のあと、子どもの可能性と輝きを信じて、個別の学習支援教室「ジョイスタディー」を立ち上げる。

最近では、フードバンク、子ども食堂の運営にも関わっている。

- | | |
|--------------|------------------|
| 2003 - 2004年 | 所沢クラブ メネットから会員へ |
| 2003 - 2015年 | クラブ副会長、書記、BFなど歴任 |
| 2012 - 2013年 | 関東東部書記 |
| 2015 - 2016年 | 所沢クラブ会長 |
| 2016 - 2021年 | 東日本区 LT 委員会委員 |
| 2021 - 2022年 | 関東東部部長 |

▼ ワイズ・ナイトフォーラム

「第1回ワイズ・ナイトフォーラム開催報告」

Change! 2022 推進委員会委員長

栗本 治郎 (熱海)



ワイズの魅力を紹介するフォーラムとして企画された『ワイズ・ナイトフォーラム』の第1回を、9月19日(日)20時からZoomオンライン開催しました。参加者総数は70名で、ワイズ以外の一般参加者は12名でした。

司会進行は東京多摩みなみクラブの石田孝次さんが務め、ほぼ定刻に開始することができ、ほとんどの方が最初から参加してくださいました。

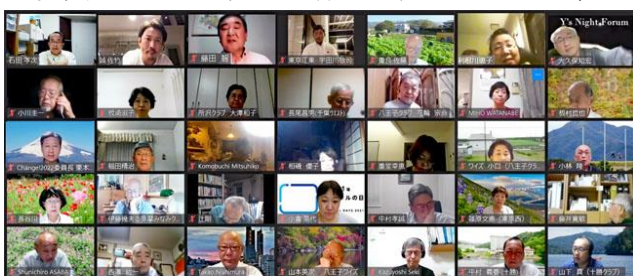
大久保知宏理事(宇都宮)による、ワイズの紹介とご挨拶に続き、第1部の卓話は、NHK e テレ『趣味の園芸』の中の『やさいの時間』を30年近く担当されていて、『チコちゃんに叱られる』にも出演されている、東京多摩みなみクラブの藤田智さんによる、テーマ『やさいの時間』のお話です。パワーポイントを使われて、オリンピックのお話や、コロナ禍の中における癒しの時間として、野菜作りが秘かなブームになっていることなどを、クイズを交えて楽しくお話してください、流石の講演力で参加して下さった皆様も満足して頂けたように思います。



【卓話『やさいの時間』に熱弁をふるう藤田智さん】

続いての第2部は、東京ベイサイドクラブが行っている『カンボジアに園児服を送る活動・・・』をテーマにして、佐竹誠さんがファシリテーターを務め、パネルディスカッションを行いました。大量の園児服や古着をワイズメン数名で直接カンボジアの村やスラム街に持って行き、現地の人たちと交流する様子を映像で紹介してから、宇田川敬司さん(東京江東)や大久保理事を交えてディスカッションが行われました。

続く、フリーディスカッションでも、我々ワイズメンには大変興味もあり参考になる話が展開されましたが、フォ



ーラムの目的である初めてワイズの活動に触れる一般参加者には、もっと配慮が必要であったと反省しています。実際に、途中退場した一般参加者もおられました。最後に佐藤重良次期理事(甲府21)に閉会のご挨拶を頂き、21時50分に閉会しました。

なお、国際協会では9月1日からChallenge 22『EMC 100日キャンペーン』が展開されており、タイムリーな企画でした。

▼ 各部 会員増強事業主査より

「会員増強の王道と発想の転換」

湘南・沖縄部主査 鈴木 茂 (横浜つづき)



湘南・沖縄部は9月27日に今期第1回のエクステンション委員会をZoomで開催し、今後のクラブ新設と会員増強対策について協議しました。クラブ新設推進対策として、二人のキーパーソンが選任されました。選任された方の経歴を活かした

独自のクラブ設立構想が披露され、大きな期待が膨らみました。湘南・沖縄部は、部自体がクラブ設立のスポンサーとなることを宣言していますので、エクステンション委員会全体としてお二人を応援する決意を新たにしました。

各クラブの会員増強については、原則として各クラブの主体的活動に委ねられますが、会員増強に奇策、魔法は無いと考えます。王道を地道に歩むことが結局は成果につながるものと確信します。その王道とは、次の三点セットから成り立つと考えます。

第一は楽しいクラブ作りです。メンバー間の人間関係が鍵になります。

第二はYMCAまたは地域社会への継続的な奉仕活動です。有意義かつ魅力ある奉仕活動は、クラブ活性化の不可欠の要素です。

第三は、日常的かつ地道な新入会員勧誘活動の継続です。マンネリや閉鎖を警戒し、新しい会員を歓迎する姿勢が問われます。

不思議なことに、この三つの要素は、相互に有機的に絡み合い、文字通りセットになって回転するとき、真の会員増強の成果が発揮されるものと信じます。そして大切なことは、コロナ禍の中で会社の仕事や会議の開催様式に発想の転換が求められたように、会員増強も困難に直面すればするほど、王道を踏まえつつも新たな挑戦が求められることであります。

▼ アジア太平洋地域 EMCフォーラム

9月26日(日)午後4時から、アジア太平洋地域主催の『Challenge 22 EMC フォーラム』が Zoom オンラインで開催されました。東日本区からは8名が参加、以下に大久保知宏理事のプレゼン内容を掲載いたします。

「東日本区のEMC戦略について」

東日本区理事 大久保 知宏 (宇都宮)



現在、東日本区で実施および企画中の EMC の繋ぐための戦略についてお話しします。

戦略の一つめは、東日本区は社団法人になったことを契機に、クラブ外への情報発信力の強化を図る取り組みです。クラブ毎の Facebook と連携する形でスマホ専用のクラブ紹介ページを作成することと、そのページを紹介するための名刺サイズのカードを作成して QR コードで簡単にアクセスできるようにして、各クラブに配布しています。

二つめは、『100日間会員増強キャンペーン』の期間、3か月間にわたって月1回、入会候補者を招いての“Y's Night Forum”を実施します。Forumの第一部では多才なワイズメンによる卓話を行います。第二部、第三部ではクラブの奉仕活動を紹介する時間として、参加者の参加意欲を高められるような内容に目指しています。第1回ではカンボジアの子どもたちへの服のプレゼントの活動、第2回ではキャンプ場でのワークキャンプを、第3回では青少年育成事業について紹介する予定です。参加者が奉仕する姿を想像できるような内容を目指しています。

三つめは、入会間もないメンバーに対する研修会の実施です。入会間もないメンバーは、新しい仲間を入れる力を持っています。そこに火を点けるような企画を目指しました。

最後に、地域会長の犬野勉さんのスローガンから、“Be healthy Program”を企画しています。このプログラムは、健康維持のための運動を動機付けするために実施するものです。エントリー費をお支払いいただき、1か月間の歩数を競います。収益の一部については、国際協会の Heal The World に伴う TOF 献金に充てる予定です。このプログラムは会員を通じて、その周辺に伝えやすい内容であり、こうしたプログラムがクラブ理解のスタートになればと考えています。

次に、東日本区の成功事例についてお話しします。

あずさ部の甲府21クラブでは、一昨年度9名、昨年度11名、今年度2名が新規入会しています。新たに入会した会員が新しい会員を勧誘して入会するという状況になっています。会員増強のきっかけは、山梨YMCAの会館新築という大きなミッションでした。キーパーソンとなる人とそのチームが、そのミッションの成功のために、教会や仕事など複数のルートを通じ、「YMCAを助けてほしい」と伝えた結果だと考えています。さらに、入会後もクラブが行っている、赤ちゃんを育てている方がベビーカーで子どもを連れて楽しめるコンサートを開催するなどの地域奉仕活動が、入会者自身のミッションとなり、新たな入会者を求めるモチベーションになっているのではないかと考えます。

Success stories from our experience



【プレゼンのZoom画面より、甲府21クラブの成功例】

千葉ウエストクラブは千葉県船橋市を中心に活動しています。ワイズメンズクラブがYMCA理解の入り口となることをクラブの目的と設定しました。入会候補者に対してYMCAよりもワイズメンズクラブの方が先入観を持たずに関わられる存在となることは重要な考え方と考えました。

横浜つるみクラブの設立では、クラブ新設のための重要な三つの要素を示しています。一つ目の要素はその地域の横浜YMCAの協力です。二つ目の要素は、キーパーソンの熱意です。新クラブ設立の核となったのは、長くその地域で行っていた地域奉仕『うたごえ広場』でした。熱意を持って地域の皆さんの信頼を得ることが重要なことです。三つ目の要素は、そのキーパーソンを支える支援体制です。湘南・沖縄部に設置したエクステンション委員会が大きな働きをしました。今回は部がスポンサーとなったことが特筆すべきことであると同時に、今後のエクステンションの形を示していると考えています。区としても、部のこうした動きを支える仕組みを、あらためて構築したいと考えています。

会員増強や新クラブ設立には、キーパーソンが「ミッション」、「ビジョン」、「パッション」の三要素を持つことが欠かせません。ただ、この要素をキーパーソンだけに頼ることなく、YMCAと共有し、キーパーソンを支える組織を作り、維持することが必要と考えています。

※こちらでアジア太平洋地域 EMC フォーラムを視聴できます。
<https://www.youtube.com/watch?v=7RQ6RJW2KL8>

▼ 第3回 拡大EMC委員会 報告

会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)



日時：2021年9月29日(水)

19:00~20:30

場所:Zoom会議 出席者:21名

《EMC事業委員会=委員長、委員、部長、会員増強事業主査、エクステンション委員長(EXT)》
11名

大川貴久委員長、北海道部:中村義春部長、二本松能敬 EXT、関東東部:金丸満雄主査・EXT、東新部:太田勝人 EXT、あずさ部:長谷川あや子部長、標克明主査、菰渕光彦 EXT、湘南・沖縄部:若木一美部長、鈴木茂主査、富士山部:榎本博主査

《Change! 2022 推進委員会》9名

相磯優子、石田孝次、伊丹一之、板村哲也、栗本治郎、札埜慶一、宮内友弥、米長晴信、渡辺大輔

《オブザーバー》1名

大久保知宏(区理事)

【次第】

挨拶:大久保知宏理事の挨拶

議事① 活動報告書の件

・活動報告書の提出状況は59クラブ中19クラブ

議事② 各部の新クラブ設立の進捗状況

・北海道部はEXTの進捗はありません。緊急事態宣言で例会も出来ていないクラブもある。

・北東部はEXT委員会をまだ開催していませんが、今進めている栃木YMCAによるリーダーOG・OBによるグローバルクラブは、とりあえず話し合いを進めている。

・関東東部は昨年、千葉ウエストクラブを設立しました。そして今年は牛久に新しいクラブを設立するための準備委員会を立ち上げる。

・東新部のEXTは、複数の人数でチームを組んで遂行して行く。古くなったランドセルの件で繋がりが出来てきて、これをきっかけに新クラブを設立したい。

・あずさ部は拡大委員会の終わった後にかかわらずEXT委員会を開催しています。新クラブ設立に関しては現在、2クラブの設立を目指しています。

・湘南・沖縄部は9/27にEXT委員会をZoomにて開催しました。新クラブの設立に関してキーパーソンになる人を2人決定し、この2名を中心に部(湘南・沖縄部は新クラブ設立時、部がスポンサーになる)が応援していきます。

・富士山部はEXT委員会を早めに開催します。

議事③ ワイズ・ナイトフォーラムの件

・本ニュース2ページに報告記事掲載

閉会の挨拶:板村哲也直前理事

次回開催は2021年10月28日(木)19時

▼ 「動画で分かるワイズ」カードの活用を!



本年7月より、スマホ専用ワイズPRサイトをスタート、QRコードを印刷したカードを各クラブに100枚配布しました

が、活用していますか?

このたび、3か月間のアクセス数がまとまり、7月は290回、8月122回、9月88回となりました。クラブ別では、①甲府21クラブが54回、②熱海クラブ29回、③熱海グローリークラブ23回がベストスリーです。

カードの活用数と会員増強数が比例する結果となっています。今後とも大いに活用して会員増強にお役立てください。

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)

9月には、下記の方が入会されましたので報告します。

No. 新入会者 (クラブ名) 紹介者

1. 田畑 智子 (東京町田コスモス) 松香 光夫
2. 平沢 雅人 (甲府21) 宮岡 宏実

《入会候補者向けにワイズの魅力を紹介する》

ワイズ・ナイトフォーラム

第2回 10月24日(日) 20:00~22:00 Zoom開催

卓話者:利根川恵子さん(川越クラブ・元理事)

「TOKYO 2020 オリンピックにボランティアとして参加して」

パネルディスカッション:チミケップキャンプ場の活動

下記は参加アドレス。右下は参加申し込みQRコード。

<https://us06web.zoom.us/j/86832303212?pwd=d3NVQkNYM0N1K0ZEaXRONEFuaVVvUT09>

第3回 11月21日(日)

20:00~22:00 Zoom開催

卓話者:西村隆夫さん(チェンマイ

クラブ、元国際書記長)

「国際書記長としてのタイでの生活とオリンピックボランティアの経験」

パネルディスカッション:ワイズ青少年事業活動の魅力

